

鳥取うみなみロード整備計画

([第2章]受入環境・情報発信・取組体制)

- 受入環境整備方針
- ナショナルサイクルルート指定要件・評価項目と現状
- 受入環境整備計画[必須項目]
 - 1) ゲートウェイ
 - 2) サイクルステーション
 - 3) サイクリストに優しい宿泊施設
 - 4) 緊急時サポート体制
- 受入環境整備計画[推奨項目]
 - 1) 運搬可能な環境整備
 - 2) 地域振興に寄与する体制
 - 3) トラブル対応環境
- 情報発信計画[必須項目]
- 取組体制[必須項目]
- 今後の整備計画スケジュール

【鳥取うみなみロード】受入環境整備方針

- 今回の鳥取うみなみロード整備計画（受入環境・情報発信・取組体制）は、鳥取うみなみロードの次期N C R指定（令和7年度までに行われる見込み）に向けて、おおむね**令和6年度末までに実施する取組及び目標を示した**もの。
- 県内外のサイクリストがより安心・快適に県内を走行・楽しんでいただけるよう、まずはN C R要件クリアを目指し、将来的には**N C R指定要件以上の受入環境を目指して取組を進めていく**。
- 本計画では、**ナショナルサイクルルート**の指定要件のうち**受入環境・情報発信・取組体制**の**目標及び取組方針**を定める。

観点	考え方
1. ルート設定	サイクルツーリズムの推進に資する魅力ある安全なルートが設定されている
2. 走行環境	迷わず安心、安全に走行できる環境が整備されている
3. 受入環境	サイクリストのニーズに対応したサポートが充実している
4. 情報発信	必要な情報が容易に入手可能である
5. 取組体制	質の高いサイクリング環境を維持し、更なる向上を図るための継続的な取り組み体制がある

サイクリストのニーズに対応したサポートの充実を目指す

ナショナルサイクルルート指定要件・評価項目と現状

観点	項目	指定要件	考え方	評価項目 (赤字:必須 / 青字:推奨)	現状
受入環境	①	多様な交通手段に対応したゲートウェイが整備されていること	ゲートウェイは、サイクリングの出発地点となることから、利用者の快適で安心な利用をサポートするための機能が利用可能であるとともに、多様な交通手段に対応できる必要があるため	<ul style="list-style-type: none"> ゲートウェイの整備 ゲートウェイのアクセスルートの整備 	未整備
	②	いつでも休憩できる環境を備えていること	ナショナルサイクルルートとして求める規模を勘案すると、一定間隔でサイクリストに必要な機能を有した休憩施設が必要となるため	<ul style="list-style-type: none"> サイクルステーション(休憩施設)の整備 	未整備
	③	ルート沿いに自転車を運搬しながら移動可能な環境を備えていること	ナショナルサイクルルートとして求める規模を勘案すると、サイクリストのレベルや地形条件に応じて、公共交通による他の代替移動手段が確保されていることが重要であるため	<ul style="list-style-type: none"> ルート上の迂回を図るための代替交通手段 自転車回送サービスとしての代替交通手段 	整備済
	④	サイクリストが安心して宿泊可能な環境を備えていること	ナショナルサイクルルートは、複数日に跨り宿泊を伴いながら利用できることを想定しているため、サイクリストが利用可能な宿泊施設が必要であるため	<ul style="list-style-type: none"> サイクリスト向けの宿泊施設 	整備済
	⑤	地域の魅力を満喫でき、地域振興にも寄与する環境を備えていること	日本における新たな観光価値を創造する上で、来訪者に地域の魅力を伝え、その魅力により地域振興を図る仕掛けが必要であるため	<ul style="list-style-type: none"> ガイドツアーの実施状況 イベントの開催状況 	一部 実施済
	⑥	自転車のトラブルに対応できる環境を備えていること	長距離のサイクリングにおいて、トラブルが発生した時に対応できることが必要であるため	<ul style="list-style-type: none"> 補修部品・自転車用品販売 修理サービス トラブル時の自転車搬送サービス 	一部 整備済
	⑦	緊急時のサポートが得られる環境を備えていること	長距離のサイクリングにおいて、緊急時にサポートが得られることが必要であるため	<ul style="list-style-type: none"> 緊急車両進入路 緊急時連絡サポート 緊急支援物品 	整備済
情報発信	⑧	誰もがどこでも容易に情報が得られる環境を備えていること	多様なサイクリストがそれぞれのニーズに基づいた必要な情報を容易に確認できることが必要であるため	<ul style="list-style-type: none"> 情報発信 ルートマップ ルートマップの入手 ルートのPR 	一部 整備済
取組体制	⑨	官民連携によるサイクリング環境の水準維持等に必要を取組体制が確立されていること	ナショナルサイクルルートに指定された後も、継続的な環境維持が必要であるため	<ul style="list-style-type: none"> 取組体制の確立 地方版自転車活用推進計画への位置づけ 	整備済

➤ 指定要件

観点	指定要件	考え方	必要な機能(◎:必須 ○:推奨)
受入環境 ①	多様な交通手段に対応したゲートウェイが整備されていること	ゲートウェイは、サイクリングの出発地点となることから、利用者の快適で安心な利用をサポートするための機能が利用可能であるとともに、多様な交通手段に対応できる必要があるため	<p>【ルート上にゲートウェイがあること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎レンタサイクル・シェアサイクルが利用可能 ◎必要な情報(ルートマップ、宿泊施設、サイクルステーション、見どころ、食事、緊急サポート)が入手可能。 ◎必要な物品(タイヤチューブ、パーツ、携行食等)が購入可能。 ◎手荷物用のロッカー、着替えスペースが完備されていること。 ◎空気入れ等の出発前の準備・調整に必要な工具の貸出があること。 ◎ゲートウェイとルート間のアクセスルートが整備されており、そのアクセス方法も分かりやすく案内されていること。 <ul style="list-style-type: none"> ○シャワー等が利用可能。 ○自転車を組み立てるスペースが屋内(もしくは屋根のある空間)に確保されている。 ○ゲートウェイまでの自転車の運搬サービス(鉄道・バスなどでの輪行、航空機による輪行のための専用ボックスの提供や保管サービス、自転車託送サービス等)が利用可能。 ○ゲートウェイと宿泊施設等間での自転車や荷物の託送サービスが利用可能

➤ 現状 **未整備**

➤ 今後の取組(方針)

⇒ルート域内にある交通結節点(空港や主要な鉄道駅など)と連携しながら来訪手法に応じたゲートウェイ整備を進める。

■空 港：鳥取砂丘コナン空港、米子鬼太郎空港 ■鉄道駅：発着駅(東浜駅、境港駅)、主要駅(鳥取駅、米子駅 など)

⇒指定要件に必要な機能は、ダイジョウブシステムの「コグステーション」におけるサービスと重複する部分が多いことから、不足する機能を補完することにより、コグステーションのゲートウェイ化を図る。

《コグステーションに不足する機能(必須項目)》 必要な物品(タイヤチューブ、パーツ、携行食)が購入可能

⇒コグステーション登録の如何によらず、本県支援制度の活用を働きかけるなど、交通結節点や観光拠点におけるゲートウェイ整備を進める。

➤ 整備目標 令和5年度末までに最低1カ所の設置。
将来的には複数カ所設置を目指す。

➤ 指定要件

観点	指定要件	考え方	必要な機能(◎:必須 ○:推奨)
受入環境 ②	いつでも休憩できる環境を備えていること	ナショナルサイクルルートとして求める規模を勘案すると、一定間隔でサイクリストに必要な機能を有した休憩施設が必要となるため	<p>◎サイクリストが必要とする機能を備えたサイクルステーションがルート上に概ね20キロごとに整備されている。</p> <p>◎トイレが利用できる ◎空気入れの貸出をしている ◎水分補給(自動販売機、飲料水の提供)が可能・休憩スペース設備(屋根付きのテーブル・椅子)がある ◎サイクルラックが設置されている ◎必要な情報(ルートマップ、宿泊施設、休憩施設、見所、食事、緊急サポート)が入手可能</p> <p>○物品販売(チューブ、携行食、モバイルバッテリー等)がなされている ○工具等の貸出しをしている ○WI-FIの提供をしている</p>

➤ 現状 **未整備** (「ルート上に概ね20Kmごとに整備」に該当しない区間があるため)

➤ 今後の取組(方針)

⇒指定要件に必要な機能は、ダイジョウブシステムの「サイクルカフェ」「サイクルポート」における提供サービスと重複する部分が多いことから、一部店舗に不足する機能を補完することにより、サイクルステーション化を図る。

《一部のサイクルカフェ・ポートに不足する機能(必須項目)》

- ・休憩スペース設備(屋根付きのテーブル・椅子)がある。
- ・必要な情報(ルートマップ、宿泊施設、休憩施設、見所、食事、緊急サポート)が入手可能

⇒飲食店やコンビニエンスストア以外にも、文化・観光施設、民間事業者などサイクリストが休憩できる施設・店舗を広げていく。

⇒サイクルステーション付近のルート上に路面標示等を設置するなど案内標記を行う。

➤ 整備目標 令和5年度末までにルート上に概ね20kmごとにステーション整備を行う。
 将来的にはさらに複数個所の整備を目指す。

➤ 指定要件

観点	指定要件	考え方	必要な機能(◎:必須 ○:推奨)
受入環境 ④	サイクリストが安心して宿泊可能な環境を備えていること	ナショナルサイクルルートは、複数日に跨り宿泊を伴いながら利用できることを想定しているため、サイクリストが利用可能な宿泊施設が必要であるため	◎ルート直近にサイクリストが必要とする機能を備えた宿泊施設が概ね60キロごとにある。 ◎室内(フロント、ロビー、客室等)で自転車の預かり・保管が可能 ◎フロントにて荷物の保管等が可能 ・洗濯が可能 ○自転車など大型荷物を含む宅配の発送、受け取りが可能 ・洗車施設がある ○日帰り利用も可能なシャワー設備がある

➤ 現状 整備済 }

- ・施設分布8カ所:境港市2、北栄町1、湯梨浜町1、鳥取市1、岩美町3
- ・最大区間距離:約57km

➤ 今後の取組(方針)

⇒指定要件に必要な機能を有する施設としては、「ダイジョウブシステム」における『サイクリストに優しい宿』が該当。

※『ルート直近』の定義は明確にされていないが、初心者からベテランまで様々なサイクリストが対象であることを考慮すると、ルートから1km程度以内のものを対象とする。

⇒要件を満たした宿泊施設がより多く、より快適になるよう、本県支援制度の活用を働きかけるなど、サイクリストに優しい宿の充実を図る。

※空白地域(指定施設間の距離が長い地域)への一層の働きかけを実施する。

⇒すでに認定をしている宿であっても、推奨項目(大型荷物の宅配の発送受取り、洗車施設整備、シャワー設備)の実施など、宿泊施設に対してサービス充実に向けた働きかけを行う。

➤ 整備目標 令和5年度末にむけて、より一層の充実を図る。

➤ 指定要件

観点	指定要件	考え方	必要な機能(◎:必須 ○:推奨)
受入環境 ⑦	緊急時のサポートが得られる環境を整えていること	長距離のサイクリングにおいて、緊急時にサポートが得られることが必要であるため	<p>【緊急車両進入路】 ◎緊急時の事故対応等のため、自転車専用道路等に緊急車両の進入が可能な環境が整備されている。また概ね2キロごとにアクセスが可能な環境が整備されている。</p> <p>【緊急時連絡サポート】 ◎緊急時の連絡体制やサポート可能な施設情報がルートマップ及びホームページなどで記載されており、サイクリストが困らない情報提供がなされている。 ○緊急通報が可能なように、携帯電話のカバー圏に全線が含まれていること。含まれていない場合には一定間隔で緊急連絡が可能な公衆又は非常電話が存在していること。</p> <p>【緊急支援物資】 ○救急箱・担架・AED機器などの緊急支援物品が途中のサイクルステーションに一定間隔がないで整備されていること。</p>

➤ 現状 整備済

【緊急車両進入路】緊急進入路整備済。
 【緊急時連絡サポート】サイクリストが必要な情報をマップ及びHPで掲載。

➤ 今後の取組(方針)

【緊急車両進入路】

⇒当該進入路は、自転車専用道など、通常、一般車両が進入することができない区間において求められているもので、鳥取うみなみロードにおいては弓ヶ浜サイクリングコースの区間が該当。弓ヶ浜サイクリングコースにおいては、国道431号から車両の進入可能箇所を整備。

【緊急時連絡サポート・緊急支援物資】

⇒ルートマップやホームページには、ダイジョウブシステムのうちキャリア搭載UDタクシーの情報を掲載している。ルートマップの一層の充実に向けて、故障修理等の対応が可能な自転車ショップ等の情報を掲載する。

■新たにルートマップやホームページへ新たに掲載する情報の例■
 ・故障修理等の対応が可能な自転車ショップの一覧 ・県内の医療機関の一覧 など

➤ 整備目標 早期に緊急時連絡サポートの充実を図る。

➤ 指定要件

観点	指定要件	考え方	必要な機能(◎:必須 ○:推奨)
受入環境 ③	ルート沿いに自転車を運搬しながら移動可能な環境を備えていること	ナショナルサイクルルートとして求める規模を勘案すると、サイクリストのレベルや地形条件に応じて、公共交通による他の代替移動手段が確保されていることが重要であるため	<p>【ルート上の迂回を図るための代替交通手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ルート上の迂回(ショートカットや危険箇所・峠道の回避)を図るための移動手段としてサイクルトレイン、サイクルバス、サイクルタクシーなどが設定されていること。 ○上記の手段について、利用者が計画を立てるのに必要な情報が提供されていること <p>【自転車回送サービスとしての代替交通手段】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サイクリストの体力や経験・実力による「走行できる距離」を勘案し、拠点までの自転車回送サービスとしてのサイクルトレイン、サイクルバス、サイクルタクシーなどが設定されていること。 ○上記の手段について、利用者が計画を立てるのに必要な情報が提供されていること

➤ 現状 整備済

【ルート上の迂回を図るための代替交通手段】
【自転車回送サービスとしての代替交通手段】

・サイクルキャリア搭載型のUDタクシー整備済、またその情報をマップ及びHPで情報発信済。

➤ 今後の取組(方針)

⇒指定要件に必要な機能を有する施設としては、「ダイジョウブシステム」におけるサイクルキャリア搭載のUDタクシーが該当。

⇒ただ、サイクルキャリア配備から年数がたっており、利用方法がわからない事業者もあることから、今後、事業者向けに利用方法のレクチャーを行うとともに、利活用に向けてサイクリストにも広く周知を図っていく。



UDタクシーの車内に自転車を積載できます

⇒サイクルトレイン、サイクルバスなど代替交通手段更なる導入に向けては、関係事業者とも協議を進めていく。

➤ 整備目標 将来的な導入を見据え、令和5年度末までにサイクルトレイン・バス等の代替交通手段について検討を進めていく。

➤ 指定要件

観点	指定要件	考え方	必要な機能(◎:必須 ○:推奨)
受入環境 ⑤	地域の魅力を満喫でき、地域振興にも寄与する環境を備えていること	日本における新たな観光価値を創造する上で、来訪者に地域の魅力を伝え、その魅力により地域振興を図る仕掛けが必要であるため	【ガイドツアーの実施状況】 ○サイクリスト向けに地域の魅力を紹介するツアーガイドなどが実施されていること。 (日英2か国語以上に対応していること) 【イベントの開催状況】 ○ルートを活用した幅広い層を対象としたイベント(ツーリングイベントやレース等)が定期的に開催されていること。

➤ 現状

一部整備済

※イベント未実施のため

【ガイドツアー】

・県および大山時間によるサイクリングガイド養成講座にてガイドの育成を図っている。

【イベントの開催】

・うみなみロード全体を活用したイベントは未実施だが、一部コースを利用したサイクルイベントが開催されている。

➤ 今後の取組(方針)

【ガイドツアー】

⇒サイクリングガイド養成講座を継続実施し、商工会等と連携しながら、観光客と地域とをつなぐサイクリングガイド養成を継続していく。

⇒養成講座を受講したサイクリングガイドが取り組むツアーコースについて、県のHP等でも紹介し、広く発信する。

【イベント開催】

⇒鳥取うみなみロードのほぼ全線を活用したライドイベントを定期的(隔年等)に開催し、ルートの魅力発信に取り組む。

⇒今後の大会開催に向けて、その開催の在り方や手法等について、R5年度に関係者と議論を進めていく。

➤ 指定要件

観点	指定要件	考え方	必要な機能(◎:必須 ○:推奨)
受入環境 ⑥	自転車のトラブルに対応できる環境を備えていること	長距離のサイクリングにおいて、トラブルが発生した時に対応できることが必要であるため	<p>【補修部品・自転車用品販売】</p> <p>○自転車補修部品・自転車用品販売について、ルート近くにトラブル発生時に必要な補修部品、自転車用品などが販売されている</p> <p>【修理サービス】</p> <p>○修理サービスについて、ルート近くにトラブル発生時に利用できる自転車修理サービスや自転車の出張修理などのサービスが実施されている。</p> <p>○上記の手段について、利用者が緊急時に利用するために必要な情報が提供されていること</p> <p>【トラブル時の自転車運送サービス】</p> <p>○トラブル時の自転車搬送サービスについて、トラブル発生時に利用できるメンテナンスのサービス拠点まで、自転車を搬送するサイクルタクシーなどのサービスが利用可能である</p> <p>○上記の手段について、利用者が緊急時に利用するために必要な情報が提供されていること</p>

➤ 現状 **一部整備済** 【補修部品・自転車用品販売・修理サービス】サービス可能店の情報が未提供
※自転車用品店販売店の情報が未提供のため 【トラブル時の自転車運送サービス】UDタクシー配備済。

➤ 今後の取組(方針)

【補修部品等販売・修理サービス】

⇒自転車修理等の可能業者をHPやルートマップに掲載して広く周知を行う。

■新たにホームページやルートマップへ新たに掲載する情報■
 *故障修理等の対応が可能な自転車ショップの一覧
 (自転車の修理可否、出張サービスや対応可能エリア、サービス内容を一覧化)

【トラブル時の自転車運送サービス】

⇒キャリア搭載のUDタクシーの周知等(受入環境③と同様)

➤ 指定要件

観点	指定要件	考え方	必要な機能(◎:必須 ○:推奨)
<p>情報発信 ⑧</p>	<p>誰もがどこでも容易に情報が得られる環境を備えていること</p>	<p>多様なサイクリストがそれぞれのニーズに基づいた必要な情報を容易に確認できることが必要であるため</p>	<p>【HP・SNS・パンフレット】 ◎ホームページ、SNS及びパンフレットなどで以下のような必要な情報発信をしていること。 <情報の内容> ルートの紹介(写真や動画等)、地域の魅力・文化、地域の拠点、立寄スポット、周辺の観光スポット、ルートの経路・距離・高低差・勾配・路面状況・危険箇所、利用者別等推奨コース、アクセス方法(公共交通アクセス等)、ゲートウェイの場所と機能、サイクルステーションの場所と機能、レンタサイクル、宿泊施設、WI-FI利用環境、ルートで利用できるサイクリストレーン等、ガイドツアー、緊急時サービス(自転車修理、医療施設等)、自転車宅配・荷物輸送等サービス情報、マップのダウンロード、GPSのダウンロード ◎インバウンドに対応した多言語(日英2か国語以上)で発信をしていること</p> <p>【ルートマップ】 ◎以下のような内容が記載されたルートマップが作成されていること。 ・ルートの経路、距離、高低差、勾配、路面状況、危険箇所、利用者別等推奨コース、ゲートウェイの場所と機能、サイクルステーションの場所と機能、地域の拠点、立寄スポット、周辺の観光スポット、ルートの紹介(写真等)、レンタサイクル、宿泊施設、WI-FI利用環境、ルートで利用できるサイクリストレーン等、ガイドツアー、緊急サービス(自転車修理、医療施設等)、自転車宅配・荷物輸送等サービス情報、アクセス方法(公共交通アクセス等)、ホームページ等のURL ◎インバウンドの旅行者でも理解できるものであること。</p> <p>○サイクリストが持ち運びやすく、水濡れに強い仕様になっていること。</p> <p>【ルートマップの入手】 ◎以下のような場所で容易に入手できること。 ・観光案内所、サイクルステーション、複数の交通拠点(道の駅、鉄道駅、空港、フェリーターミナル、バスターミナル等)、宿泊施設 ◎データをホームページ上にアップし、PCまたはスマートフォンで閲覧できるとともに、PDF等でダウンロード可能であること。</p> <p>【ルートのPR】 ○海外の自転車展示会、旅行関係のイベント等に出展し、PRを積極的に実施していること。</p>

➤ 現状 一部整備済 ※HPの多言語化未対応のため

【ホームページ(HP)】県のサイクル関係公式HP「とっとり自転車旅」を開設
 【SNS】Instagram [tottori_cycle_tourism]、Facebook [鳥取県サイクルツーリズム振興室] を開設
 【パンフレット】「神々のふるさと山陰」ルートマップ(東部・中部・西部版)を作成し各所に配布

ホームページ

とっとり自転車旅

サイクリングルート ダイジョウブシステム レンタサイクル イベント情報 交通ルール

木漏れ日のブナ林を抜け大山をぐるっと一周 ツール・大山サイクリングルート

名峰大山と日本海をのぞみ、
大自然を疾走する。

とっとりCYCLE RESEARCH

中国地方最高峰の大山を越し、草原に広がる鳥取県。鳥取県土の奥で人々に広く知られる大山山麓ルート中、全長140kmに及ぶ鳥取県内最大のルートなど、雄大な自然を堪能しよう!

- ページ内に主要ルート、「ダイジョウブシステム」、レンタサイクル拠点、イベント情報などを掲載。
- ルート情報は、距離や高低差、観光スポットなど、サイクリングに最低限必要な情報を発信。
- サイクリストに必要な情報を増やすなど、掲載情報の充実を図る。

SNS

Instagram

Facebook

鳥取県サイクルツーリズム振興室 (Tottori Pref. Cycling Division)

CycleSports器材のオフショツト! 編集許可が出たので掲載しちゃいますー!
 おおやといそだが無事天に鳥取砂丘を走り、馬の鞍の頂上で秋の力ニダンを踊ったり、カニボールベンをつかったカニウィンク♥なんとも可愛らしいお二人。
 撮影は雨天の中ではありませんでしたが、無事終了。さて、どんな記事になりますことやら、乞うご期待、… ツツと見る

- ・現在開設しているSNSは、InstagramとFacebookの2つ。
- ・それぞれの特徴を生かし、映える写真のほか、県の施策展開やサイクリングに関するトピックスなどの発信をしている。
- ・今後は、サイトの外部委託などを検討するなど、より効果的な発信を図っていく。

《参考》2/1時点のフォロワー数
 Instagram・・・180名
 Facebook・・・72名

パンフレット

神々のふるさと山陰

サイクリングと観光マップ

- ・県が発行しているサイクリングマップ、パンフレットは、「神々のふるさと山陰」(東・中・西部版)
- ・ルート地図のみならず、ダイジョウブシステム情報や観光地の情報なども掲載している。
- ・このほか、ジャパンエコトラック冊子などを活用している。
- ・サイクリストの情報収集媒体を確認の上、県内外のサイクリストが欲しがっている情報を掲載していくことが重要。
- ・また、インバウンドにも対応したマップ作成が必要

➤ 今後の取組(方針)

【ホームページ】

⇒ルートマップ、ダイジョウブシステムをはじめイベントカレンダーなどの掲載情報の充実

■ホームページ情報の充実■

- ・鳥取うみなみロードをはじめとした県主体ルート掲載
- ・ダイジョウブシステム(サイクルカフェ、サイクルポート、サイクリストに優しい宿)などの支援システム体制
- ・地域ガイド者の紹介やガイド者の推奨ルート
- ・サポートできる緊急連絡先(医療機関など)
- ・地域全体のサイクル関係イベント情報
- ・本県へのアクセスとゲートウェイ情報
- など

⇒インバウンドの旅行者にも理解できるよう、公式ホームページの主要情報の多言語化(英語)

■多言語化(英語)したホームページへの掲載情報■

- ・代表的なルート情報(ルートマップ、立ち寄り観光地情報)、ダイジョウブシステム情報
- ・外国人モデルを活用した魅力発信素材の作成と掲載
- など

【SNS】

⇒掲載内容や発信頻度の充実に向けて、県内のサイクリング関連情報(イベント、講演や研修等)の発信強化

【ルートマップ】

⇒「鳥取うみなみロード」に特化したルートマップの作成と多言語化(英語)の作成。

■掲載情報(例)■

- ・ルート情報(距離、高低差、走行に関する注意箇所など)
- ・ダイジョウブシステムなどの支援体制
- ・周辺観光情報
- ・サポート可能な施設など緊急連絡先

【その他】

⇒「鳥取うみなみロード」を表すロゴ作成 や コース上のスポットに「モニュメント」設置 などを検討

⇒県内外のサイクルイベントや自転車に関する全国会議などに出展するなど、積極的なPRの実施

- 整備目標 令和5年度末までに公式ホームページの多言語化
鳥取うみなみロードのルートマップ作成

➤ 指定要件

観点	指定要件	考え方	必要な機能(◎:必須 ○:推奨)
取組体制 ◎	官民連携によるサイクリング環境の水準維持等に必要な取組体制が確立されていること	ナショナルサイクルルートに指定された後も、継続的な環境維持が必要であるため	【取組体制】 ◎官民が連携し一体的に協議・検討・議論を行う常設の協議会、事務局が設置されていること。 ◎上記の協議会が定期的に開催されていること。 【地方版自転車活用推進計画への位置づけ】 ◎指定されたナショナルサイクルルートに関する水準維持等に向けた取組内容を都道府県・政令市の地方版自転車活用推進計画に具体的に位置づけること。

➤ 現状 **整備済**

【取組体制】
 ・鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議の設置と定期的な会議開催

【地方版自転車活用推進計画への位置づけ】
 ・鳥取県自転車活用推進アクションプログラムにNCRに向かう旨の記載あり

➤ 今後の取組(方針)

【取組体制】

⇒鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議においては、NCR指定に向けた議論とともに、本県におけるサイクルツーリズムの推進、サイクリストの聖地化に向けた議論を進めていく。

・鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議に置いている「ナショナルサイクルルート推進ワーキンググループ」(NCR推進WG)において、鳥取うみなみロードに特化した運用として、NCR指定に向けた議論を進めるとともに、NCR推進WGの中に個別事案(走行環境・受入環境等)を検討するタスクフォースを適宜加えた機動的な体制により、施策推進の加速を図っていく。

【地方版自転車活用推進計画への位置づけ】

⇒本県計画「鳥取県自転車活用推進アクションプログラム」においてサイクル関連施策のより一層の充実を示す。

■計画への記載例■
 ・ナショナルサイクルルートの指定水準を維持するための具体的な施策と方針
 ・ナショナルサイクルルートの認知度向上のための情報発信
 ・更なる環境向上に向けた施策の展開方針 など

⇒サイクリストや観光客等の安全で快適な自転車利用の促進に向けて、鳥取うみなみロード沿線の市町村を中心に、自転車活用推進計画の策定を働きかける。

今後の整備計画スケジュール

スケジュール

観点	項目	評価項目 (赤字:必須 / 青字:推奨)	スケジュール					
			R5年 1月～3月	R5年 4月～6月	R5年 7月～9月	R5年 10月～12月	R6年 1月～3月	R6年度以降
受入 環境	①	・ゲートウェイの整備	ゲートウェイ整備					
		・ゲートウェイのアクセスルートの整備					アクセス道路設計・整備	
	②	・サイクルステーション(休憩施設)の整備	サイクルステーション化整備					
	③	・ルート上の迂回を図るための代替交通手段	サイクルトレイン・バスなど代替交通手段に関する検討					代替交通手段の実証・実験
		・自転車回送サービスとしての代替交通手段	UDタクシー 実務者研修	利用促進にあたっての制度周知				
	④	・サイクリスト向けの宿泊施設	強化地域への働きかけ					
			サイクリストに優しい宿制度認定の促進					
	⑤	・ガイドツアーの実施状況		・サイクリングガイドツアー講習 ・ガイドツアー造成及び発信				
		・イベントの開催状況	● 県主催イベント実施	次回開催に向けての検討				

観点	項目	評価項目 (赤字:必須 / 青字:推奨)	スケジュール					R6年度以降
			R5年 1月～3月	R5年 4月～6月	R5年 7月～9月	R5年 10月～12月	R6年 1月～3月	
受入環境	⑥	・補修部品・自転車用品販売 ・修理サービス	対象店舗の 確認	● 県公式HPへの掲載				
		・トラブル時の自転車搬送サービス	UDタクシー 実務者研修	利用促進にあたっての制度周知				
	⑦	・緊急時連絡サポート	公開情報の 精査・確認	● 県公式HPへの掲載				
		・緊急支援物品	支援物品等の 有無確認	サイクルステーションへの支援物品の検討				
情報発信	⑧	・情報発信	掲載情報の充実・発信力の強化					
		・ルートマップ ・ルートマップの入手		HPの多言語化対応	● 公開			
		・ルートのPR			うみなみルートマップの作成			
			サイクリングイベント等への出展検討					
取組体制	⑨	・取組体制の確立	・鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議の開催 ・鳥取うみなみロードタスクフォースの開催					
		・地方版自転車活用推進計画への位置づけ	「鳥取県自転車活用推進アクションプログラム」記載内容の充実検討					
			沿線の市町村を中心に自転車活用推進計画策定の働きかけ					